

特集

2024年12月15日 近畿支部会報告

～学校教育と天文教育普及との関わり～

小高大輔（大阪市立新北島小学校）、和田浩一（星のソムリエ京都）、
澤田幸輝（沖縄女子短期大学／和歌山大学大学院）、
河村聡人（京都女子大学/株式会社 sorano me）、玉澤春史（東京大学）

1. はじめに

本報は、2024年12月15日（土）に行われたオンライン近畿支部会の報告である。当日は、招待講演を含めて7件の講演があり、参加者は18名であった。



図1 Zoom参加者画面

2. 企画・準備

本会開催に当たって、2024年9月18日にオンラインで近畿支部会代議員会議を実施し、支部会の実施方式や本会のテーマについて議論した。実施方式は、コロナ禍以降の慣例に則り、オンライン（Zoom）で開催することとした。また本会のテーマを「学校教育と天文教育普及との関わり」とし、小学校・中学校を中心とした学校教育と天文教育普及の関わりについて議論することとした。招待講演者として、学校教育の現場及び天文教育普及研究会の立場から積極的に天文教育活動を実践してきた成田直氏（川西市立牧の台小学校）に依頼することとした。

3. 当日のプログラム

当日のプログラムは以下の通りである。

10:55～11:00 開会あいさつ（小高）

【セッション1（座長：澤田）】

11:00～11:20

「江戸時代に和歌山で見られた彗星」

米澤樹（みさと天文台／和歌山大学）

11:20～11:40

「天文教育の正の向きと逆の向き」

富田晃彦（和歌山大学）

11:40～12:00

「小学校における『月の満ち欠け』の効果的な指導法の提案」

西村一洋（枚方市立香陽小学校）

12:00～13:00 休憩

【セッション2（座長：小高）】

13:00～13:40

「学校と天文教育普及研究会の関わり方について」（招待講演）

成田直（川西市立牧の台小学校）

13:40～14:00

「小学校・中学校の天文分野について（小学校を中心にして）」（情報提供）

小高大輔（大阪市立新北島小学校）

14:00～14:20

「学校教育と天文教育普及との関わりについて」（情報交換）

14:20～14:30 休憩

【セッション3 (座長：和田)】

14:30～14:50

「奈良県の高等学校における学校天文台設置をめぐる系譜とその現状」

澤田幸輝 (沖縄女子短期大学)

14:50～15:10

「高校教育と天文教育普及～天文台を所持する高校に勤務する立場から～」

石田光宏 (横浜市立戸塚高等学校)

15:10～15:30

「天文教育普及データ分析における LLM 利用の試用」

玉澤春史 (東京大学)

15:30～ 閉会あいさつ (小高)

4. 情報交換

成田氏の講演を受け、学校教育の天文分野について確認し、学校教育と天文教育普及との関わりについて情報交換を行なった。講演内容と合わせて情報交換についてまとめると、ポイントは大きく2つに分けられると考える。学校にアプローチをどのようにするのかと、天文教育普及の内容をどうするのかという2つである。

学校へのアプローチでは、学校への直接のアプローチと教育委員会へのアプローチが考えられ、その際には、天文教育普及研究会や大学などの団体としてのアプローチの方が、個人でのアプローチよりもつながりやすいだろうとのことであった。個人でのアプローチをする場合は、学校では地域人材の活用が言われているため、地元の学校がアプローチしやすいだろうという話があった。ただ、学校での働き方改革により教員が残りにくくなっていることから、夜の観望会の難しさがあげられた。そのため、PTA や地域 (自治会等) へのアプローチも考えられるという話があった。

天文教育普及の内容については、授業の中で入るのか、授業外で入るのかに、昼間行うのか、夜に行うのかによって変わってくるだろうと話があった。授業の中で入る場合は、理科の内容に関連させたり、探究活動のコンテンツとして提供したりすることが考えられるという話があった。どの場合でも、子どもの興味をひくものであることが大事になるだろう。

5. おわりに

今回、学校教育と天文教育普及との関わりというテーマで近畿支部会を行なった。学校教育側の立場からの視点と天文教育普及側の立場からの視点とを合わせ、よりよい天文教育普及実践への広がりへとつながれば幸いである。天文教育普及の中で、「〇〇であるべし」ではなく、富田氏が会の中で発言されたように、多様な考えが活かされ、学校教育と天文教育普及とが関わっていけるよう、今後も近畿支部の活動を行っていききたいと思う。

さて、次回の近畿支部会は、2025年5月31日(土)大阪教育大学天王寺キャンパスみらい教育共創館での実施を予定している。天文教育普及とICTをテーマにする予定である。皆様、是非ご参加いただければと思う。

小高大輔